

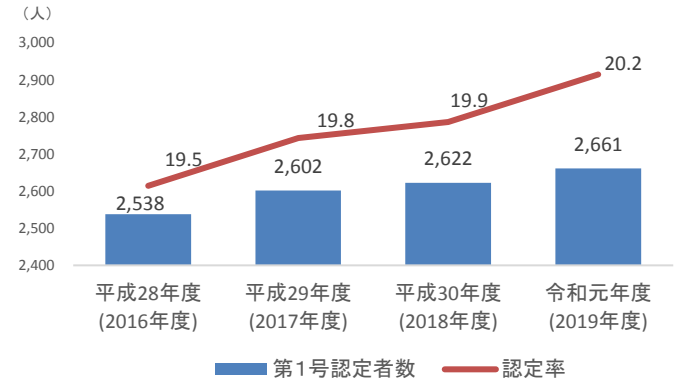
◆本市の高齢者を取り巻く現状・課題、対応の方向性

西脇市の現状

要介護認定率・施設サービスの受給率が高い

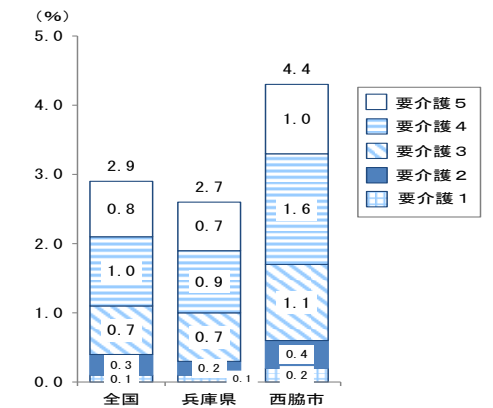
【要介護認定の状況】  
要介護認定率は、高齢化に伴い、年々増加しています。また、北播磨地域における本市の認定率は、2番目に高い状況です。

要介護・要認定者の推移



【施設サービス受給率の状況】  
(令和元年度実績)  
・全国平均、兵庫県平均より高い。  
・兵庫県内で4番目に高い。  
・北播磨地域で一番高い。

施設サービス費



現状からみえる課題

◇要介護状態に至らないための健康に資する施策の必要性

- ・後期高齢者の増加に伴い要介護認定者が増加
- ・介護予防のための通いの場への参加は低調で、認知機能の低下、運動器の機能低下及び転倒リスクのある人が第7期に比べ増加
- ・後期高齢者の医療費は、同じ規模の市町より高く、筋・骨格系、骨折などの医療費が高い状況にあり、要介護認定のある後期高齢者は糖尿病や認知症の有病率が高い。

◇要介護認定の平準化及び適正化に資する取組の必要性

- ・調整済み認定率は、全国と同水準で要支援1・2が低く、要介護1・2の割合が高い。

◇在宅介護の限界点の向上の必要性

- ・ひとり暮らしの高齢者が増加
- ・介護保険サービスの種別では、特に施設サービスの受給率が高い。
- ・要介護者も介護者も高齢化している。
- ・要介護3以上や認知症の症状がある人は、施設入所を検討する割合が高い。
- ・要介護認定者が今後希望する生活の場所は、71.2%が「自宅」
- ・介護者が、不安を感じる介護は、排せつの世話と認知症への対応が多い。
- ・ケアマネジャーは、「訪問介護」、「短期入所生活介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」のサービスが不足していると感じている。
- ・複合化・複雑化した支援ニーズを持つ世帯が増加

◇高齢者の地域での生活支援の必要性

- ・ケアマネジャーは、「ごみ出し支援」「移動販売」「外出支援」を希望する人が多いと感じている。
- ・生活では、自動車による移動が多いため、免許を返納した場合、外出の機会が減少する可能性がある。

対応策

◇健康づくり・疾病対策の強化

◇フレイル状態の早期発見と予防対策の強化

◇認定調査項目別の選択状況の分析

◇認定調査員の資質向上

◇地域ケア会議・包括的な支援体制の強化

◇利用者の意思を尊重したケアマネジメントの支援

◇在宅介護が継続できるサービス基盤の整備

◇認知症の早期発見・早期対応

◇終末期の医療・介護の体制づくり

◇ニーズに対応した生活支援の充実

◇住民主体の支え合いのしくみづくり

取組施策

1. 高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進

- (1)健康づくりの推進
- (2)生きがい対策の推進
- (3)社会参加・交流の促進

【拡充】  
・健幸交流推進事業  
・専門職によるフレイル予防活動(保健事業と介護予防の一体的実施)

2. 地域における包括的な支援体制の推進

- (1)包括的な地域ケア体制の推進
- (2)在宅生活を支えるサービスの充実
- (3)在宅医療・介護連携の推進
- (4)認知症施策の推進
- (5)高齢者の尊厳への配慮と権利擁護の推進
- (6)高齢者の安心な住まいの確保
- (7)安全・安心なまちづくり

【新規】  
・重層的支援体制整備事業  
・ごみ出し支援事業  
・デマンド型交通  
【拡充】  
・西脇市コミュニティバス

3. 介護サービスの充実と介護保険制度の円滑な運営

- (1)介護保険サービスの基盤整備
- (2)介護保険制度の円滑な運営
- (3)介護人材の確保

【拡充】  
・地域密着型サービスの充実